

2021 特集 聖堂聖別百周年を迎える③

奉献された礼拝堂の

「聖歌番号表示盤」

聖堂関係のエピソードを紹介したいと思う。資料保管委員会の山本元委員長の調べによると、武田小芳の母、きよは1939（昭和14）年1月6日に没した。きよは信徒ではなかったが、娘小芳が生前長くお世話になった教会に感謝の献金を小芳の兄三郎（写真1）が奉げた。この献金を用い、記念として礼拝堂に「聖歌番号表示盤」が設置された。表示盤の左脇にこの旨が彫られている（写真2）。これについては川越基督教会・川越初雁幼稚園財産目録①



940（昭和15）年5月1日記録に記載されている（写真3）

②

して、1908（明治41）年卒業した。同年、アメリカ宣教師のヘーウッド師やランソン師の4年間川越滞在の活躍は終了し、交代でアメリカのアプタン師やフランス女医のマータン師が川越に定住した。小芳はどのようにアプタン師らとの付き合いが始まったかはまだハッキリしないところがあるが、アプタン師が初雁幼稚園の園長に在職中に1912（明治45）年卒業した北村博学の小芳先生についての思い出話が残っている。（蕨の教会198号）注⑧



④

聖歌番号表示板及カード入相
昭和十四年一月
武田きよ姉就職記念献金
設計奥村 製作松山町

③

確かに、表示盤の左横を良く見ると「奉献 為武田きよ姉記念」の字がかすかに彫られている。それに至るまでの興味深い話を紹介したいと思います。

武田小芳は1886（明治19）年11月に（現）川越市宮下町で生まれた。先祖は棚倉藩の御典医で、松平康英藩主は1867（慶応3）年、棚倉藩から川越藩へ移り、小芳の先祖も藩主と共に川越に移った。

小芳は川越町尋常小学校や同高等小学校を卒業後、立教女学校に入學

1912（明治45）年、アプタン師は休暇の許可を得て、マータン師やヨハネ（アプタン師の養子）や小芳（当時25歳）とシベリア鉄道で欧州を経由、汽船により米国東海岸に着いた。アプタン師が小芳を海外へ同伴した目的のひとつはジョージア州ラグレンジ町の保母養成学校に入學させることである。ラグレンジ町周辺に織物工場が多く、聖公会はその男女工員やその家族を支えるための教育、医療、幼稚園や宣教の合同施設を設けて、1912（明治45）年秋より、保母養成学校を開校し、

卒業生は米国内外宣教もできるようにした。3年間をかけて、小芳は卒業した。（写真4）。その3年の間川越の実家へ送った手紙や写真も残っている（写真5）。当時、小芳のような若い日本人がひとり海外留学することはまだ珍しい時代であった。

帰朝後、小芳はアプタン師と大宮愛仕幼稚園を創設した（写真6）。残念ながら、1923（大正12）年9月1日、小芳は東京住まいの妹への訪問中、関東大震災で数多くの死者の一人になった。若きの36歳（写

写真説明 出典 注

- ①1906 (明治 39) 年 8 月 26 日 左から武田小芳 (20 歳) 三郎 (兄) きよ (母) 武田博典夫妻蔵
- ②聖堂の聖歌番号表示盤 左横に武田きよ姉記念の文字が刻んである
- ③聖歌番号表示盤が掲載されている財産目録 設計は当時の司祭である奥村亮 製作は松山町 (現東松山市)
- ④写真中央が小芳と考えられる。当時の幼稚園の様子 (米国ジョージア州の保母養成学校にて)
- ⑤1912 (明治 45) 年以降、左から小芳、アブタン師、ヨハネ 欧米にて撮影と考えられる。武田博典夫妻蔵
- ⑥1920 年ごろ アブタン師らと写っていると考えられる。大正時代の
大宮愛仕幼稚園 (聖公会神学院蔵)
- ⑦武田小芳や母の墓などのこと、没年が書かれている。関東大震災の日。
- ⑧鳶の教会 198 号の一部記事

「愛の芽を育てる教育を今後も」

北村博学

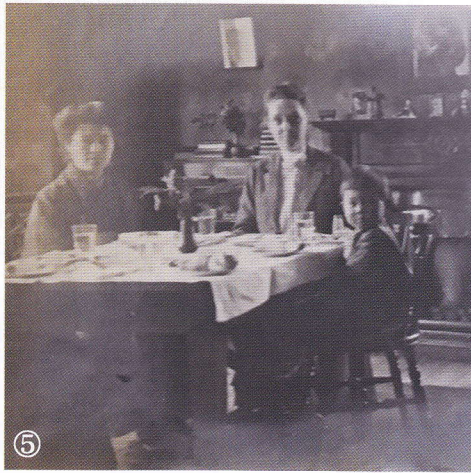
私は明治 45 年の卒園生で、満 76 歳になります。70 年も前の初雁幼稚園草創当時のことを思い浮かべますと何といたっても田井長老先生のあの立派な白いおひげ、優しい眼ざしそして重々しい声調です。そしてお世話をして頂いた私たちの卒園後渡米された武田先生の母親のようなあたたかい愛のこもった補導と若くきれいな面影です。(以下略 1981 年発行)

武田小芳
武田きよ

大正五年九月一日 被服所
明治三十八年七月三十日迄
昭和十四年一月六日迄

川崎市 連教香
連教香

大正五年九月一日迄
昭和十四年一月六日迄



大正時代の
大宮愛仕幼稚園

アブタン師はその後埼玉県内にいくつかの幼稚園を設立しました。また愛仕母学会を作り保育者を育てます。教え子たちが各地で活躍し愛仕という名をつけた幼稚園を開きました。大宮愛仕幼稚園は近年学校法人となり、2021 年 4 月からは聖公会北関東学園に加わる予定です。(野澤達也注)

真(7)。短い一生でも、カ一杯、アブタン師と共に幼児教育を広めるうえで、大きな役割があったと思う。

資料保管委員会

パウロ ドウエル ベーリ